

2025年度 国立感染症研究所 感染症市民公開講座 (シラバス)

講義方法	オンライン	科目名	感染研市民公開講座		副題	知らなかった、感染症の「へー、そうだったんだ！」					
主催	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所			水準	中級	リアルタイム定員 (オンライン)	500	ふりかえり配信用員	1000	講義期間	2025年10月～2026年2月 各回 18:30～20:00
科目概要	感染症に関して、普段なかなか知ることができない「へー、そうなんだ」的な知識をお伝えします。また、感染症に立ち向かうために、感染症研究の専門機関、特に国立感染症研究所が果たしている役割についても紹介します。高校生以上が理解できる内容としますが、参加の年齢制限は設けません。講義当日にリアルタイムで参加できない方は、振り返り視聴をご覧ください。										

科目構成	No.	講義タイトル案	講義概要(講師より)	講義日	開講場所	事務局	講師	所属
全6回	1	ウイルスって悪いヤツ？ ～肝炎から学ぶ本当の姿～	「ウイルス＝病気の原因」と考えがちですが、すべてのウイルスが病原性を示すわけではありません。多くのウイルスは感染しても病気を起こさず、我々と共生しています。病気の発症には、ウイルスを排除しようとする、私たちの免疫応答が重要な役割を果たすことが少なくありません。B型肝炎ウイルス(HBV)感染によるB型肝炎はその典型例です。本講演では、病原体と共生者というウイルスの二面性を通じ、ヒトとウイルスの関係を考察します。	2025/10/21(火)	Zoom Webinarによる オンライン形式 (事務局:国立感染症 研究所)	藤本 嗣人 山本 明範 小林 望 廣瀬 晶久 今西 光 総務部調整課 葛西 真治	五十川 正記 (いそがわ まさのり)	国立感染症研究所 ウイルス第二部 部長
	2	感染症に対するおくすり作りの ものがたり	感染症に対する治療薬、特に抗ウイルス薬はどのように開発されるのでしょうか？ 一般的なお話に加えて、わたしたち現場の実際の取り組みも交えながら、抗ウイルス薬開発とそこに至るまでの研究のお話をご紹介します。	2025/11/18(火)			渡士 幸一 (わたし こういち)	国立感染症研究所 治療薬開発研究部 部長
	3	臨床検体からの病原体検出・ 解析について	病院で感染症を疑われた場合、検体を採取して病原体の検出検査を行う場合があります。感染研でも病院から送られた検体から病原体を検出して、その病原体について詳細な解析を行う事があります。本講座では病院で実施する検査や感染研で実施する検査・解析について、ウイルスを標的とした検出・解析方法を一例に解説します。また、平時における検査とパンデミック時における検査の違いなどについてもお話したいと思います。	2025/12/10(水) ※水曜日実施 ご注意ください			影山 努 (かげやま つとむ)	国立感染症研究所 検査診断技術研究部 部長
	4	感染研の新たな船出 ～次の時代に向けたミッション～	国立感染症研究所は、今年度4月より新たな組織体制のもと、感染症の脅威から人々の生命と健康を守るための研究および情報収集・発信機能を強化しています。本講座では、これまでの歩みを振り返りつつ、新体制で挑む次の時代のミッションと、感染症対策の最前線に立つ研究の役割について、市民の皆さまにわかりやすく紹介します。	2026/1/6(火)			俣野 哲朗 (またの てつろう)	国立感染症研究所 所長
	5	輸血感染症対策の最前線 ～輸血による感染症リスク低減を 目指して～	血液は生命にとって極めて重要な成分で、外傷や病気等で不足した場合には、無償の「献血血液」で多くの命が救われています。輸血の記載はギリシャ神話にも認められ、17世紀以降、科学技術の発展に伴い開発・整備されてきました。一方、血液を介して感染する病原体も次々と発見され、その対策も講じられてきました。WHOも血液製剤を必須医薬品に定めており、その安全性確保、特に感染症リスクの低減は最重要課題となっています。本講座では、輸血の歴史や概要、輸血感染症にどう立ち向かってきたかを、解説致します。	2026/1/27(火)			水上 拓郎 (みずかみ たくお)	国立感染症研究所 次世代生物学的製剤研究 センター センター長
	6	細菌による動物由来感染症 ～基礎から最新の動向まで～	動物由来感染症は、動物から人へ、また、人から動物へ感染する病気で、細菌が原因となるものも数多く存在します。代表的な細菌性動物由来感染症の基礎知識から、感染経路、症状、予防方法などを解説します。また、従来の検査法に加え、全ゲノム配列解析などの最新の検査技術なども併せて紹介します。	2026/2/17(火)			奥谷 晶子 (おくたに あきこ)	国立感染症研究所 獣医科学部 室長